

伊米ヶ崎小学校 学校だより

# 星と稲

発行日 令和3年6月23日

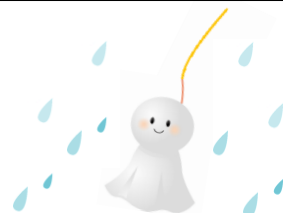
発行者 校長 名塚高明

NO 3

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん



## 和醸良子



日本酒づくりにおいて、受け継がれてきた言葉に『和醸良酒（わじょうりょうしゅ）』があります。その意味は「和の心は良酒を醸し、良酒は和の心を醸す」というものです。酒づくりは重い米袋の持ち運び、冷たい水で行う洗米などつらく厳しい仕事です。一方で、温度管理、衛生管理など繊細な仕事でもあります。そのため、蔵人全員が力と気持ちを揃え、一丸となって酒造りを行う必要があります。加えて、作り手は一昔前まで、地元住民ばかりでなく、その酒造り期間だけの杜氏集団いたそうです。ですので、良い酒をつくるためには、みんなが協力すること、目標に向けて気持ちを合わせること…、すなわち和の心をもつことが酒づくりには肝要になります。そうやって生み出されるからこそ、良酒が醸され、つくり手、売り手、飲み手のすべての人に一層の和がもたらされるのです。

この言葉は、成功するシステムにおける共通した法則が含まれています。成功の裏には携わる人々の良好な組織や協力体制があり、その成功が人々に和をもたらし、より大きな成功につながっていく…。こうした好循環が存するのです。

酒づくりを教育に置き換えることも可能です。「和醸良子」です。学校、保護者、地域が和をもって、協力し、支え合い子どもたちを教え導くことで、健やかな子どもの成長につながり、そして、その子どもの成長を共に喜び合うことにより、一層その関係が強固になり、和がもたらされていく。そんなサイクル考えられます。

さて、来年度から魚沼市内小中学校は全てコミュニティースクールになります。現在、小出小学校がモデル地域に指定され、地域の皆さんからも研修していただいているところです。この制度が発足することにより、これまで以上に地域での学校づくりが推進されます。地域が期待し、求める子ども像を学校が受け止め、学校運営の柱としていくこととなります。もちろん学校からも地域へ様々な思い、願い、要望等を発信させていただきます。これまでも伊米ヶ崎小学校は伊米ヶ崎地域、保護者に支えられてきました。今後も「和醸良子」の精神で、皆様と手を携え、子どもたちの健やかな成長のために尽力し、子どもたちの活躍や成長につなげていきたいと思えます。その暁には、子どもたちの活躍を肴にお酒を酌み交わしたいものだと思います。

地域、保護者の皆様、これからもご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



# ふるさとの森開き ～5月31日～

5月31日にふるさとの森開きが行われました。はじめに、各学年代表児童がふるさとの森でどんなことをしたいかを発表し、その後、森ができたころの思い出を伊米ヶ崎小OBの森山敏広さんから話していただきました。森山さんからは「今、ふるさとの森の木々が立派に育ち、子どもたちが遊んだり、学んだりして楽しんでいることを聞いて、よかったなあと思います。30年前の作業が実ったと感じました。この森をきっかけに自然に親しんでほしいと思います。」とお話していただきました。最後に、ふるさとの森造成当時の牧岡校長先生作詞の「大樹の詩」をみんなで歌いました。



# 6 学年 佐渡修学旅行 ～6月15、16日～



子どもたちの笑顔が絶えない一泊二日の修学旅行でした。たらい舟や砂金取りなど、様々な活動を楽しむことができました。天候もよく、野生のトキも見ることができました。トキの森公園では、餌をついばむ親子を間近で見ることができました。旅行中、子どもたちは、元気なあいさつ、明るい返事、爽やかな受け答え、けじめやルール順守等、いつも通りの立派な態度でした。

子どもたちにとって佐渡での体験は、小学校での最高の思い出になったことでしょう。



# クラブ活動始まる！

5月13日から令和3年度のクラブ活動が始まりました。クラブには4年生以上が所属し、地域のスペシャリストの先生から教えてもらいます。今年度のクラブは、「英語」が新しく加わり、「芸能」「茶道」「ネイチャークラフト」「写真」5つです。子どもたちはこれまで経験したことのない活動に挑戦することになります。いろいろな経験をとおして、興味関心を広げてほしいと思います。

講師の皆様、12月までよろしくお願いします！



